

**“日清食品カップ”第39回秋田県小学生陸上競技交流大会
兼 令和5年度秋田県少年少女陸上競技大会 要項**

- 1 主催 (一財)秋田陸上競技協会
- 2 後援 公益財団法人日本陸上競技連盟、公益財団法人 安藤スポーツ・食文化振興財団、
秋田県教育委員会、秋田市教育委員会、秋田魁新報社
- 3 協賛 日清食品ホールディングス株式会社
- 4 会場 秋田県立中央公園県営陸上競技場
- 5 期 日 令和5年6月25日(日)
・ 9:00 引率者打ち合わせ
・ 9:30 競技役員打ち合わせ
・ 10:20 開始式
・ 10:30 競技開始
・ 14:30 競技終了(予定)

6 競技種目

(男子)	・ 5年生100m	・ 6年生100m	・ 1000m
	・ コンバインドA(80mハードル、走高跳)		
	・ コンバインドB(走幅跳、ジャベリックボール投)		
(女子)	・ 5年生100m	・ 6年生100m	・ 800m
	・ コンバインドA(80mハードル、走高跳)		
	・ コンバインドB(走幅跳、ジャベリックボール投)		
(男女混合)	・ 4×100mリレー		

7 参加資格

- (1) 参加者は小学校5、6年生の年齢に該当する児童であること。
- (2) 参加者は郡市の予選会を経て、郡市陸上競技協会長の推薦を得たリレーチーム、個人とし、保護者の同意を得た児童とする。
※1人1郡市のみ予選会出場とし、同一人が複数郡市への予選会に出場することはできない。
- (3) **日本陸上競技連盟へ登録した選手であること。**
※1000mと800mは登録しなくてもよい。詳細は別途連絡。

8 参加制限

- (1) 郡市ごとの参加枠は個人種目最大4名、リレーは最大4チームとする。
- (2) 同一人が複数種目に出場することはできない。(リレーも1種目とする。)
- (3) 男女混合リレーは、1チーム男女各2～3人、計4～6人の編成とする。出場選手は、男女各2人とし、走順は自由とする。
- (4) リレー種目で決勝進出の場合、原則予選のメンバーを替えることはできない。ただし、走順を替えることはできる。

9 競技規則

本大会は2023年度日本陸上競技連盟競技規則と、本大会要項ならびに申し合わせ事項によって実施する。ただし、児童の年齢を考慮した教育的な配慮も行う。

10 競技方法

- (1) 1000m・800m以外のスタートはクラウチングスタート(スターティングブロックは使用しなくてもよい)とし、スタンディングスタートは認めない。スタートで同じ競技者が2回不正スタートをした時に、その競技者を失格とする。
- (2) タイムレースでは、同記録の場合に写真判定主任が写真を拡大し、より細かく判定して決勝進出者を定める。それでも決められない場合は抽選とする。
- (3) リレー種目においては、原則としてそのチームで同一のユニフォームを着用する。
- (4) リレー種目のマーカー使用は1カ所とし、マーカーは各校で用意する。使用したマーカーはそのチームで処理する。
- (5) リレー種目の補欠の選手を対象として、男女別に100m友情レースを実施する(出場者を大会当日確認した後、番組編成を行う)。
- (6) コンバインド種目は、別に定める得点により順位を決定する(日本陸連 HP 参照)。得点と同じ選手は同順位とする。
- (7) コンバインドAについて

① 80mハードルは男女とも以下の規格で実施する。

スタートから第1ハードルまで	高 さ	インターバル	台 数	最終ハードルからフィニッシュまで
1.3m	70cm	7m	9台	1.1m

- ② 走高跳のバーの上げ方
 男子 1m ~ (5cm) 1m25 1m28 1m31 以上 3cm ずつあげる。
 女子 1m ~ (5cm) 1m15 1m18 1m21 以上 3cm ずつ上げる。
- ③ 走高跳は、マットへの着地は足裏からとし、背や腰からの着地は無効試技とする。
- ④ 走高跳は、2回続けて失敗すれば試技を終了とする。

(8) コンバインドBについて

- ① ジャベリックボール投は、男女とも以下の内容で実施する。

使用球	競技場所	投てき角度	助走距離
ジャベボール	ヤリ投げピット	ヤリ投げと同じ	15m以内

試技の際には、ボール本体を持ち、オーバーハンスローで投げることにする。

- ② 走幅跳とジャベリックボール投は、それぞれ2回の試技とする。

(9) 靴底の厚さの測定は行わない。

11 表彰 各種目の3位までにメダル、8位までの入賞者に賞状を授与する。(友情100mを除く。)

12 全国大会等への出場資格

- (1) 男女各5年100m、6年100mのコンバインドA、コンバインドBの1位と、男女混合4×100mリレーの1位を全国小学生交流大会の秋田県代表とする。リレーのメンバーは交代できない。
 ※ 全国大会は9月16日(土)~18日(月)神奈川県・日産スタジアムで開催する。競技は9月17日(日)。
- (2) コンバインド種目において1位選手が2人以上いた場合の全国大会選考方法は、後日定める注意事項で確認すること。
- (3) 男女各5年100m、6年100mの2・3位、男子1000m、女子800mの1~3位、男女各コンバインドの各種目(80mハードル、走高跳、走幅跳、ジャベリックボール投)における全国大会出場者を除く上位2名は、東日本都道府県小学生陸上競技交流大会に出場できる。
 ※ 東日本大会は8月11日(金)青森県・新青森総合運動公園陸上競技場で開催する。
- (4) 辞退者が出たり事情があったりする場合の代表選手の選考は、主催者で判断し決定する。
- (5) 大会終了後、全国大会及び東日本大会出場についての打合せ会を実施するので、選手の指導者または保護者は必ず出席すること。また、選手は大会前に行われる事前練習会に参加すること。

13 参加料 一人1500円とする。(大会が中止になった場合、その時期によっては返金ができない場合がある。)

14 参加申込

- (1) 所属団体ごとに、各郡市陸上競技協会が指定した申込書、大会出場承諾書、参加料を郡市陸上競技協会へ提出する。
- (2) 郡市陸上競技協会は、必要書類を取りまとめ秋田陸協普及委員長宛に6月8日(木)必着で送付する。また、参加料を一括して秋田陸協のゆうちょ銀行口座に振り込む。
 ※振込先 ゆうちょ銀行 「振替口座」02560-0-3828
 加入者名 「秋田陸上競技協会」
- (3) 大会出場承諾書は、郡市の代表が事前に郵送か大会当日に持参し、本部に提出する。

15 その他

- (1) アスリートビブス(ナンバーカード)は主催者で用意し、プログラムと一緒に競技場内の受付で配付する。大会前日13:00~14:00か大会当日7:30~8:30で必ずチーム単位で受付を済ますこと。尚、プログラムは参加各チームに1部、参加選手全員に1部を配付する。
- (2) 競技中に事故が発生した場合、主催者は応急処置のみ行うので、以後の対応は引率者が実施する。(所属団体ごとにスポーツ安全保険等に加入することが望ましい。)
- (3) 県営陸上競技場での練習に関しては、前日の午後(13:00~16:00)と当日朝(8:30~9:45)のみ開放する。ただし、前日の走り高跳びの練習は、雨天時の場合マットを使用した練習はできない。また、補助競技場は当日(9:00~14:00)開放する。
- (4) 個人情報取り扱いについて法令を遵守しつつ、大会の資格審査、プログラム編成及び作成、記録発表、その他競技運営に必要な連絡等に利用する。
- (5) 映像・動画・画像の二次使用について
 本大会主催者及び日本陸上競技連盟いずれかが認めた報道機関や大会の協賛・後援の各団体が撮影した大会の映像・動画・画像・記事・個人情報等を、主催者および主催者が認めた第三者が大会運営および宣伝等の目的で、大会ポスター・プログラム・パンフレット・大会報告等への使用、およびテレビ・ラジオ・新聞・雑誌・SNS・ホームページ等の媒体に掲載することがある。
- (6) 大会の競技日程、注意事項、新型コロナウイルス対応などは、秋田陸上競技協会のホームページに掲載する。参加選手と保護者、関係者は事前に必ず確認しておくこと。